

「新規大腸粘膜腫瘍様病変－ポリープ様核偏位性大腸炎」研究協力のお願

当院病理診断科では下記診断を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご強力をお願い申し上げます。

研究の対象

2020年1月から2022年9月まで当院で、大腸過形成性結節との組織診断を受けた成人患者

研究の目的・方法

本研究は、大腸過形成性結節を再検し、その大部分が、ポリープ様に隆起した核偏位性大腸炎であること解明する。ポリープ様核偏位性大腸炎に関する臨床病理学的検索を目的としています。病態に関連がある可能性がある粘膜表層上皮のapoptosis 小体を検出するため、パラフィン切片を対象に、cleaved caspase3免疫組織化学染色抗体を利用した検出を試みる。

研究に用いる試料・情報の種類

研究期間:2023年10月11日(倫理委員会承認日) ~ 2025年3月31日

研究の方法:

観察項目:パラフィン包埋検体を用いた病理学的解析

・ヘマトキシリン・エオジン(HE)染色標本における病理組織像を観察するとともに、cleaved caspase3抗体を用いた免疫染色実施します。

解析方法:病理組織学的解析

・パラフィン包埋切片に対して、cleaved caspase3 抗体を用いた免疫組織化学的検索を施行する。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究は、ポリープ切除術で得られた試料を用いて解析を行うため、新たに患者さんに来院していただくことはありません。費用もかかりません。本研究に関する質問等がございましたら、以下の連絡先まで問い合せてください。

また、情報を当該研究に用いられることに了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、以下の連絡先までお申し出ください。

なお、この研究は、研究機関である島田市立総合医療センターの倫理委員会で承認され、病院事業管理者の許可を得て実施します。また、この研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはございませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び島田市立総合医療センターに帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような開示すべき利益相反、関係にある企業はありません。

連絡先

島田市立総合医療センター 病理診断科

TEL:0547-35-2111 FAX:0547-36-9155

研究責任者

氏名 橘 充弘